

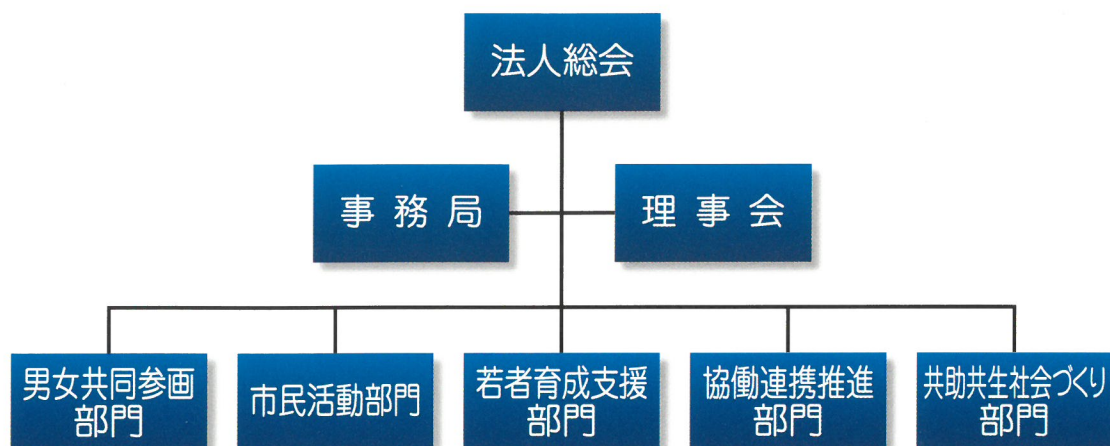
令和6年度 事業報告書

特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター

目 次

1	組織概要	2
2	男女共同参画部門	3~20
3	市民活動・協働連携支援部門	21~29
4	共助共生社会づくり部門	30~33
5	若者就労支援部門	34~37
6	講師・ファシリテーター派遣事業	38~39
7	協力事業関連	40~41

組 織



秋田県南NPOセンターは「人と人をつなぐ」組織です!!

事業概要



事業概要

特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター

所在地 〒013-0046 秋田県横手市神明町1-9(事務所)

連絡先 電話0182-33-7015・FAX0182-33-7038

設 立 平成16年12月24日

役 員

理事長 飼田 一之 副理事長 和賀 幸雄

理 事 高城 憲子、高橋 茂、藤原恵美子、
丹 すみ子、塩田 充弘、八嶋 英樹

監 事 金沢 直樹

男女共同参画部門

秋田県南部男女共同参画センター指定管理事業

ハーモニーフェスタ2024開催業務

令和6年度 事業実施報告

I 男女共同参画センター運営事業

事業名	利用者懇談会
目的	センターを利用している登録団体相互の交流と、団体の代表者とセンター職員が意見交換を行い、その意見をセンター運営等に反映させる。
日時	令和6年7月24日(水)13:30~15:30
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
参加人数	12人(内男性3人)
内容	<p>■参加者自己紹介</p> <p>■令和6年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部男女共同参画センター ・南部市民活動サポートセンター <p>■県の事業説明、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 <p>■協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー機・印刷機料金改定案について ・センターに対する要望等 <p>■懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体「マヤタリプロジェクト」活動紹介 ・コーヒー豆の産地ネパールのジェンダー平等 ・流通(フェアトレード)とSDGs ・団体の活動紹介やイベント告知等



事業名	第1回 地域連携ネットワーク会議(県南地域)
目的	市町村担当者とあきた F・F 推進員、センター登録団体の代表者と県担当者、センター職員が一堂に会して、男女共同参画推進に関する情報交換とネットワークを強化し、相互協力を図ることを目的とする。
日時	令和6年5月22日(水)13:30~15:30
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
参加人数	25人(内男性11人/内オンライン参加2人)
内容	<p>■令和6年度 男女共同参画推進事業計画説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・南部男女共同参画センター <p>■参加者自己紹介</p> <p>■講話 多様性について 講師 松倉 みほ子さん(あきた F・F 推進員/結婚相談所& LGBTQ ご縁相談所 maricoco 代表カウンセラー)</p> <p>■秋田県の取組み等、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供等



事業名	第2回 地域連携ネットワーク会議(県南地域)
目的	市町村担当者とあきた F・F 推進員、センター登録団体の代表者と県の担当者、センター職員が一堂に会して、男女共同参画推進に関する情報交換とネットワークを強化し、相互協力を図ることを目的とする。
日時	令和7年2月19日(水)13:30~15:00
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
参加人数	28人(内男性6人/内オンライン8人)
内容	<p>■参加者自己紹介</p> <p>■令和6年度 事業実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・南部男女共同参画センター <p>■意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護分野の男女共同参画を推進するために ・講座やイベントの広報について <p>■秋田県の取組み等、情報提供</p>



事業名	第1回 センター運営委員会
目的	センター運営と事業の充実を図るため運営委員会を設置し、提案や助言を得て今年度事業に反映させることを目的とする。
日時	令和6年5月22日(水)15:40~16:15
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター 研修室
参加人数	8人(委員3人/センター職員3人/県担当職員2人)(内男性1人/内オンライン2人)
内容	<p>■委嘱状交付</p> <p>■運営委員自己紹介</p> <p>富岡 美津子さん(あきたF・F推進員/きづきのき代表)</p> <p>高橋 玲子さん(あきたF・F推進員/(同)Linpeace 代表)</p> <p>長谷川 聖史さん(あきたF・F推進員/パパ'sサークル ピーターパン代表/ H&S Creating Lab.代表)</p> <p>■案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会設置要綱説明 ・令和6年度 事業計画 ・視察と評価方法等について

事業名	第2回 センター運営委員会
目的	センター運営と事業の充実を図るため運営委員会を設置し、事業の評価と助言を得て次年度の運営と事業に反映させることを目的とする。
日時	令和7年2月19日(水)15:10~16:00
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター 研修室
参加人数	7人(内男性1人・内オンライン2人)
内容	<p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 実施事業説明 ・運営委員評価と感想 ・委員長総合評価 ・次年度への提案やアドバイス等

2 学習・研修事業

(1)男女共同参画社会づくりに関する実践的講座

事業名	LGBTQ 理解促進セミナー わたしたちが紡ぐカラフルな未来
目的	多様な性や当事者との接し方等について知ることによって LGBTQ への更なる理解促進を目指す。制度や仕組みづくりを考え、人々の意識や理解が伴い、性的マイノリティだけではなく誰もが安心して自分らしく過ごせる地域社会について考える機会とする。
日時	令和 6 年 6 月 9 日(日) 13:00~15:00
開催場所	花火伝統文化継承資料館はなび・アム(サテライト会場)
参加人数	16 人(内男性 2 人)
主催	秋田県北部男女共同参画センター
共催	大仙市
講師	前川 直哉さん(福島大学 教育推進機構 准教授)
内容	<p>■講話 多様な性と性的マイノリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイノリティとは ・不平等、権力関係について ・性のグラデーション ・差別、ハラスメントについて ・SOGI 性的指向と性自認 <p>■三者対談 一人ひとりができること 真木 柊鷹さん(性と人権ネットワーク ESTO 代表) 今 将人さん(損害保健ジャパン株式会社カルチャー変革推進部 DE&I 推進グループ) 前川 直哉さん(福島大学教育推進機構 准教授)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティが生きやすい町とは ・アライとは ・トランスジェンダーの課題と若者の課題 ・質疑応答 <p>■北東北の団体の活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクランブルエッグ(青森県) ・いわてレインボーマーチ(岩手県) ・秋田プライドマーチ実行委員会(秋田県) <p>■フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想 ・自身の生活のなかでの多様性について




事業名	高校生と大学生が語る、私たちの性のこと
目的	女性の性や生殖に関わる面で、身体的、精神的、社会的に良好な状態を保ち、出産の有無や生殖に関する決定を自分で行うことができる権利について知る機会を提供する。
日時	令和6年10月5日(土)13:30~15:30
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター 研修室(サテライト会場)
参加人数	4人
主催	秋田県中央男女共同参画センター
講師	丸井 淑美さん(日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科 教授)
内容	<p>■講話 自分のからだを守る「SRHR」って何？</p> <p>■国際教養大学サークル「リプロプロ」と高校生の対話(事前収録した映像を放映)</p> <p>テーマ「自分の体を守る」</p> <p>社会や教育の根本的な課題「情報が共有されないこと」について話し合う</p> <p>■講師と学生を交えた意見交換</p> <p>■ワーク</p> <p>テーマ「どうしたら「安全に話せる場」をつくれるのか」</p>





(2) 男性の家事・育児と仕事の両立を促進するためのセミナー



事業名	男性の家事を応援 片づけのプロに学ぶ整理収納術
目的	男性の苦手な家事の片づけ(整理収納)を一から学ぶことで苦手意識を克服し、更なる家事育児への参画を目指す。
日時	令和6年7月28日(日)10:00~12:00
開催場所	美郷町中央ふれあい館 (主会場 オンライン配信)
参加人数	26人(内男性10人)
主催	秋田県南部男女共同参画センター
共催	美郷町
講師	近 千穂さん(整理収納アドバイザー/Re:rise(リライズ)代表)
内容	<p>■講話 “面倒くさい”から 家族が笑顔になる片づけ家事へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「片づけ」って何をすること？ ・整理収納の3つのステップ ・「捨てられない」の対処法 ・モノとの付き合い方 <p>■ワーク「自分観察ワーク」</p> <p>■まとめ、質疑応答</p>




事業名	働く男性の生き方講座 ～内なるしんどさに気づく～
目的	男性が自らの生活スタイルや価値観を見つめ直し、男性学からアンコンシャス・バイアスや男性間でおこる優位性などに気づくことで、男性ゆえのつらさやストレスに対処でき、生きづらさの解消につながることを目指す。
展示期間	令和 6 年 8 月 4 日(日) 10:00～12:00
開催場所	横手市交流センターY2ぶらざ 3 階 研修室 3 (サテライト会場)
参加人数	14 人(内男性 4 人)
主催	秋田県北部男女共同参画センター
共催	横手市
講師	中村 洸太さん(東洋学園大学専任講師/公認心理士/臨床心理士)
内容	<div> <div> <p>■講話 内なるしんどさを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティと男性学 ・男性の特権と代償 ・自己憐憫 ・しんどさへの対処 <p>■グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づき等を共有 </div>  </div>


(3) 女性の管理職やリーダーを育成するための研修会

事業名	女性の健康とキャリアを考えるセミナー
目的	女性特有の健康課題について知ることによって将来の体調変化に備え、健康管理の大切さを学ぶ。また、他者への理解と健康課題があってもキャリアアップを諦めることなく自己実現できる職場環境づくりにつながることを期待する。
日時	令和 6 年 8 月 20 日(火) 13:30～15:30
開催場所	大仙市大綱交流館 (主会場 オンライン配信)
参加人数	17 人(内男性 1 人)
主催	秋田県南部男女共同参画センター
共催	大仙市
講師	大内 麻友美さん(さんぎょうい株式会社ソリューション事業部保健師事業室室長/保健師)
ファシリテーター	高橋 玲子さん(合同会社 Linpeace 代表/キャリアコンサルタント/あきた F・F 推進員)
内容	<div> <div> <p>■講話 働く女性のための健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生理と仕事のパフォーマンス ・生理の課題は社会の課題 ・受診のポイント ・女性特有の病気 ・更年期障害によるパフォーマンスの変化 ・男性に知ってほしいポイント <p>■グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性特有の体調不良をどんな時に感じるか ・働き続けられるために、どんな制度があったらよいか </div>   </div>


事業名	ビジネスシーンでの伝わる話し方 女性のスキルアップ講座 2
目的	自分も相手もストレスを感じない話し方や伝える方法について学びスキルアップを目指す。また、心理的不安がないコミュニケーションや職場環境について知り、働きやすい環境づくりについて考える機会とする。
日時	令和6年10月3日(木)13:30~15:30
開催場所	花火伝統文化継承資料館はなび・アム
参加人数	25人(内男性1人)
共催	大仙市
講師	加賀谷 七重さん(エンパワーメントwith代表/あきたF・F推進員)
内容	<p>■講話とワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝わらないコミュニケーションとは ・気づいた人が損をする? ・自己実現できる環境づくり ・思い込みを生み出す“脳の働き” ・コミュニケーションにおける“同意” ・リーダーは役割  

(4) 地域で活躍する人材を育成するための研修会





事業名	“虎に翼”をきっかけに「女性と法律」を学ぶ ～男女共同参画の視点から
目的	女性の人権や男女平等のために整備された法律を知ること、女性のこれからの生き方について考える機会とする。
日時	令和6年11月2日(土)13:30~15:30
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター 研修室 (サテライト会場)
参加人数	12人(内男性2人)
主催	秋田県中央男女共同参画センター
講師	原田 いづみさん (弁護士/横手ひまわり基金法律事務所所長)
内容	<p>■講話 “虎に翼”をきっかけに「女性と法律」を学ぶ ～男女共同参画の視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の人権の尊重や男女平等に関する条文 ・違憲とされた男女差別にあたる裁判について ・憲法策定から現在に至るまでの女性の権利 <p>■グループワーク</p> <p>テーマ「選択的夫婦別姓の制度導入」について</p> 

事業名	あきた F・F 推進員研修交流会
目的	あきた F・F 推進員と今後あきた F・F 推進員を目指す方の学びの機会とし、地域で男女共同参画を推進する人材を育成することを目的とする。また、ネットワークの強化と新たな活動の創出を期待する。
日時	令和 7 年 3 月 1 日(土) 13:30~16:00
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
参加人数	19 人(内男性 1 人)
実行委員	富岡 美津子さん(あきた F・F 推進員) 石橋 菜穂子さん(あきた F・F 推進員) 菅谷 由美子さん(あきた F・F 推進員研修生)
協力	きづきのき(センター登録団体) マヤタリプロジェクト(センター登録団体)
内容	あきた F・F 推進員が実行委員となり、企画・準備・運営を行った。キーワード「多様性」 <div> <div>■小さな おはなし会 (一般参加も可能)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読みきかせと小説の朗読(6 編) ・防災のはなし <div>■交流会</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 <p>(自身の活動紹介と地域の男女共同参画推進について、多様性について思うこと等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の感想や気付き </div> 

(5) 地域における重点的な取組みの推進に関する研修

事業名	男女共同参画と防災
目的	災害時に起こる出来事に対して判断をしなければいけないことを経験することで「防災」を他人事にせず「自分事」として考えることをねらいとし、防災への意識啓発と災害時における避難所等での多様な視点の重要性について学ぶ機会とする。
日時	令和 6 年 11 月 26 日(火) 13:30~15:00
開催場所	美郷町公民館
参加人数	65 人
共催	美郷町
講師	あきたクロスロード研究会(センター登録団体)
内容	<div>■防災クロスロード 「あなたはその時どうしますか？」思考の防災訓練</div> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の場面設定からの設問に対し、どのように行動するか、それぞれが回答する。 グループで自身の回答について共有する。 ・防災気象情報をもとに、とるべき行動「警戒レベル」について ・自助、共助、公助について 

3 自主事業・共催事業・受託事業等


事業名	自主事業 登録団体支援 登録団体活動紹介および作品展示
目的	団体の活動について周知するとともに、他団体との交流の機会となることを目的とする。活動の成果である作品の展示や活動紹介を行うことで、団体の活動継続と新規会員の獲得を目指す。
日時	令和6年12月2日(月)～21日(土)
開催場所	秋田県南部男女共同参画センターオープンスペース
来館者人数	654人
参加団体	<p>13団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新日本婦人の会 横手支部 ・よこて和生の会 ・わくわく科学工房 ・学用品おさがりの会 ・スマイルパソコン教室 ・あなたの居場所 ・こころ美術館 ・横手かまくら吟社 ・横手朗読ボランティアまんさくの会 ・横手山岳協会 ・パステルなごみアート ・横手ふるさと語りの会「とっぴんぱらりのプー」 ・パパ's サークル ピーターパン <p>(順不同)</p>
内容	<p>活動紹介と作品展示</p>    


事業名	自主事業 秋田県男女共同参画推進月間(6月)企画展示
目的	推進月間を広く県民に周知するとともに、防災分野の男女共同参画推進を広く啓発する。
日時	令和6年6月1日(土)~30日(日)
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
内容	<p>■防災に関する書籍と東日本大震災関連の図書コーナーを設置し、貸し出しを行った。 (国立女性教育会館蔵書 50冊)</p> <p>■防災に関する展示</p> <p>女性が知っておくべき防災のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女がともに支え合う地域づくり ・男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営のポイント




事業名	自主事業 横手市男女共同参画推進協議会委員研修
目的	男女共同参画社会づくりを推進するために携わる方々の知識向上と、ジェンダー平等への理解を深めることを目的とする。
日時	令和6年6月29日(水)18:00~19:30
開催場所	横手市交流センターY2ぷらざ 3階 研修室3
参加人数	23人(内男性11人)
講師	井上 博子さん(秋田県南部男女共同参画センター センター長/あきたF・F推進員)
内容	■講話 「ジェンダーって、なあに？」

事業名	自主事業 男女共同参画推進啓発活動
目的	固定的な性別役割分担意識を解消し、誰もが自分らしく生活できる男女共同参画社会づくりの推進を地域に啓発、普及させることを目的とする。
日時	令和7年1月30日(木)15:00~16:00
開催場所	横手駅前温泉ゆうゆうプラザ
参加人数	25人(内男性19人)
主催	横手市土地改良区
講師	井上 博子さん(秋田県南部男女共同参画センター センター長/あきたF・F推進員)
内容	■講演 男女共同参画とは~個々の幸福と無意識の偏見~




事業名	共催事業 秋田県地域自殺対策強化事業 主催：性と人権ネットワーク ESTO 性同一性障害特例法からトランスジェンダーの生きる権利を考える研修会
目的	多様な性への理解と人権の尊重を広く啓発するとともに、ハラスメントやアウティングなど差別の解消を目指し、誰もが安心して生活できる地域社会を形成し、自殺リスクを軽減することを目的とする。
日時	令和6年11月9日(土)13:30～16:30
開催場所	南部男女共同参画センター(サテライト会場)
内容	<p>■講演 性同一性障害特例法の法成立とトランスジェンダーの困難を振り返る 講師：野宮 亜紀さん (（一社）LGBT 法連合会顧問/大学非常勤講師)</p> <p>■対談 性同一性障害特例法の法的問題と課題 野宮 亜紀さん 原田 いづみさん(弁護士)</p> 

事業名	羽後町共催事業 羽後町男女共同参画講演会
日時	令和6年11月13日(水)13:30～15:00
開催場所	羽後町活性化センター
内容	<p>■講演 防災と女性の視点～災害に備え、私たちができること～ 講師：西宮 三春さん(仙北市消防団員/仙北市議会議員/あきた F・F 推進員)</p> <p>■ミニ講座 アドバイザー：高橋 里津子さん(日赤防災セミナー指導者)</p> <p>■防災用品の展示</p> <p>【センター共催】企画・運営・防災食の提供</p> 

事業名	横手市共催事業 令和6年度 横手市男女共同参画フォーラム 男女共に輝く社会を目指して ～女性活躍の実現～
日時	令和7年2月22日(土)13:00～16:00
開催場所	横手市交流センターY2 ぷらざ1階 オープンスペース
内容	<p>■講演 未来への扉を開け続けよう ～一歩踏み出す勇気が描く、起業ストーリー～ 講師：谷本 瑞絵さん</p> <p>■講演 女性の活躍が秋田の未来を開く ～持続可能なまちをつくるために～ 講師：麓 幸子さん</p> <p>■トークセッション 谷本 瑞絵さん 麓 幸子さん 林 一輝さん</p> <p>■展示 中高生のジェンダー (社会的性差)に関する 意識調査報告を展示</p>  <p>【センター共催】企画・運営・展示</p>

事業名	受託事業 秋田県男女共同参画推進事業 ハーモニーフェスタ 2024 ～地域ではぐくむ多様性社会～
目的	男女共同参画に対する県民の関心と理解を深め、地域の更なる男女共同参画推進とジェンダー平等や多様性への理解促進を目指すことを目的とする。
日時	令和6年6月29日(土)13:00～16:30
開催場所	仙北市西木温泉ふれあいプラザ クリオン
参加人数	317人(延べ人数)
主催	秋田県
共催	仙北市
協力	あきた F・F 推進員/仙北市実行委員会の皆さん
内容	<p>■レセプション(秋田ストリートダンスプランナーの皆さんによるワックダンス)</p> <p>■主催者あいさつ 丹治 純子さん(秋田県理事)</p> <p>■秋田県男女共同参画社会づくり表彰 ハーモニー賞受賞:真木 柁鷹さん(性と人権ネットワークESTO代表/あきた F・F 推進員) チャレンジ賞受賞:伊藤 励さん</p> <p>■基調講演 ジェンダー平等と多様性社会 講師:山屋 理恵さん (岩手県男女共同参画センター センター長)</p> <p>■パネルディスカッション テーマ だれもがイキイキ共生社会 ファシリテーター:坂本 佐穂さん(あきた F・F 推進員) パネリスト:清水 大さん(美容部員/ダンス講師) 石川 晴久さん(社会福祉法人あきたふくしハートネット愛仙 管理者)</p> <p>■分科会</p> <p>①教育 どうする?ジェンダー教育 ファシリテーター:黒田 純代さん(あきた F・F 推進員)</p> <p>②防災 私って災害弱者? ファシリテーター:西宮 三春さん(あきた F・F 推進員) 情報提供者:田口 俊彦さん(仙北市危機管理監)</p> <p>③観光 多様性と観光を考える ファシリテーター:富岡 美津子さん(あきた F・F 推進員) 情報提供者:佐藤 奈央維さん(グローバルプロモーション株式会社 セールスコーディネーター)</p>



事業名	受託事業 あきたの男女共同参画連携会議 分科会②ジェンダー教育 ～あなたらしく生きる～
分科会のねらい	地域における世代間のジェンダーに対する意識の違いについて知る機会とする。子どもたちが学校を卒業し社会に出てから感じるジェンダー不平等のひずみについて考え、地域で推進していく男女共同参画について考える。
主催	秋田県
日時	令和6年10月10日(金)13:45～15:00
開催場所	秋田県生活センター 研修室2
参加人数	16人(内男性5人)
ファシリテーター	黒田 純代さん(キャリアコーディネーター/あきたF・F推進員)
情報提供者	小野 人平さん((株)小野建設 代表取締役) 井上 博子さん(秋田県南部男女共同参画センター センター長/あきたF・F推進員)
内容	<p>テーマ ジェンダー教育～あなたらしく生きる～</p> <p>■中高生のジェンダー(社会的性差)に関する意識調査からの報告 情報提供:井上 博子さん 地域の中学校と高校に協力を得て、ジェンダー(社会的性差)に関するアンケートを実施し、163人から回答を得た。 (内閣府が公開している動画を観て、どのように感じるか、ジェンダーについて思っていること等)</p>  <p>■職場や家庭でのジェンダー平等について 情報提供:小野 人平さん ・性別に関係なく働きやすい職場環境を目指して ・二世帯で暮らす世代間のジェンダーギャップ</p>  <p>■ジェンダー平等のために今私ができること ・行動表明</p> 

4 登録団体支援業務

(1) 男女共同参画社会形成を推進しようとする団体を登録し、年間を通じた発表の場の提供と活動支援

登録団体名	支援内容	日にち
横手おやこ劇場	・イベント看板原稿作成 // ・イベント開催告知(センターHP、Facebook) ・イベント看板原稿作成	6月17日 10月21日 // 2月10日
庭じかん	・作品紹介(センターHP、Facebook) ・ハンギングバスケットの管理(水やり等)	6月21日 6月～11月
よこて和生の会	・研修会看板原稿作成 // //	8月21日 11月25日 3月24日
新日本婦人の会	・オンライン研修のための機器等設定 ・企画展(被爆者と広島の高校生の共同制作の絵) ・イベント看板原稿作成 ・イベント開催で映像放映のための機器等設定	6月15日 8月3日～18日 9月25日 10月13日
横手市母親連絡会	・オンライン研修のための機器のセッティング	9月28日
学用品おさがりの会	・イベント出展告知(センターHP、Facebook) ・学用品預かり ・イベント開催告知(センターHP、Facebook)	9月7日 1月～2月 1月28日
横手郷土史研究会	・講座看板原稿作成	9月27日
横手マンドリンクラブ	・演奏会開催告知(センターHP、Facebook)	9月10日
トレコンアモーレ 母の日 コンサート実行委員会	・コンサート開催告知(センターHP、Facebook)	4月～5月
横手山岳協会	・写真展開催告知(センターHP、Facebook)	3月7日
パパ'sサークル ピーターパン	・イベント出展告知(センターHP、Facebook) ・講演会開催告知(センターHP、Facebook) ・オンライン講演会会場設営フォロー	9月7日 10月18日 10月27日
横手ふるさと語りの会 とっぴんばらりのプー	・イベント開催告知(センターHP、Facebook) //	9月13日 1月25日
横手芸術文化団体連盟	・市民文化祭出展等告知(センターHP、Facebook)	9月6日
秋田近代史研究会	・講座看板原稿作成	11月9日
横手かまくら吟社	・賞状の原稿作成、印刷	11月25日
横手ばら会	・作品展示(センターHP、Facebook)	6月10日
アトリエ リラ	・作品展示	通年
野いちごの会 (新規登録団体)	・作品紹介(センターHP、Facebook) //	12月9日 3月10日

(2) 登録団体活動紹介および作品展示と団体間の交流の機会の提供

・展示期間: 令和6年12月2日(月)～12月21日(土) 12頁参照

5 ネットワーク形成に関する業務

(1) 市町村との連携(年 2 回以上の訪問)

- ・県南地域 7 市町村に事業説明と共催について、打ち合わせを行った。
- ・次年度へ活かすための事業の振り返りを行った。

(2) 企業や関係団体と連携(月 2 回以上の訪問)

- ・県南地域の企業団体 39 社に訪問し、講座やイベントへの参加促進と男女共同参画推進とセンターの情報提供を行った。
- ・あきた女性活躍・両立支援センターに訪問し、女性活躍推進の講座等の案内を行った。

6 情報提供に関する業務

事業名	FM ラジオで情報提供
目的	センターの PR と男女共同参画に関する啓発のための情報発信を目的とする。
日時	令和 6 年 4 月 16 日(水) 10:00~10:30
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター 研修室
参加人数	3 人(内男性 1 人)
内容	<p>横手かまくら FM 収録 (放送日:4 月 28 日)</p> <p>■センター事業と女性活躍推進について</p> <p>パーソナリティ:佐藤 実園さん(横手かまくらFM)</p> <p>ゲスト:八嶋 英樹さん(特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター 理事)</p> <p>井上 博子さん(秋田県南部男女共同参画センター センター長)</p>

事業名	地域での情報提供
目的	センターの PR と男女共同参画に関する啓発のための情報発信を目的とする。
日時	令和 6 年 9 月 25 日(水) 13:00~13:30
開催場所	横手駅前温泉ゆうゆうプラザ
参加人数	35 人(内男性 33 人)
主催	横手ロータリークラブ例会
講師	井上 博子さん(秋田県南部男女共同参画センター センター長)
内容	<p>■講演 男女共同参画センターについて</p> <p>・男女共同参画とは ・センターの事業等について</p>

事業名	秋田県 DV 防止推進月間&児童虐待防止月間啓発活動
目的	11月の秋田県 DV 防止推進月間&児童虐待防止月間にあわせて、DV 防止と児童虐待防止について広く啓発することを目的とする。
日時	令和6年11月1日(金)~30日(土)
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
内容	<p>■秋田県 DV 防止推進月間 &児童虐待防止月間特設コーナー設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV(ドメスティックバイオレンス)とは何か ・パープルリボン、オレンジリボンについて ・相談連絡先の情報提供 <p>(掲示のほか HP・Facebook で情報発信を行った)</p>



事業名	国際女性デー啓発活動
目的	3月8日の国際女性デーにちなみ、女性が自身の生き方について考える機会と、地域課題について情報提供を目的とする。
日時	令和7年2月26日(水)~3月31日(月)
開催場所	秋田県南部男女共同参画センター オープンスペース
内容	<p>■国際女性デー特設コーナー設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミモザ(生花)を展示 ・国際女性デー特集新聞記事掲示



●図書、ビデオ、DVDの貸出し等 所蔵 書籍=679冊 ビデオ・DVD=56本

●情報交流室にて男女共同参画に関する行政資料や全国の男女共同参画関連施設の通信、県南地域の市町村広報誌等を設置

●ホームページ・Facebookでの情報提供

令和6年度 ホームページ・Facebook 情報提供数統計

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講座イベント情報	2	6	12	8	5	4	12	11	5	0	3	5	73
通信「きらめき」	1	2	0	0	2	0	1	2	0	0	0	1	9
トピックス	1	0	1	2	7	1	3	1	3	2	2	2	25
登録団体情報	0	0	3	2	2	6	5	0	1	2	1	4	26
国や県の情報	11	0	3	0	0	4	3	2	6	6	1	1	37
相談窓口情報	1	0	4	0	0	2	0	1	1	0	0	2	11
合計	16	8	23	12	16	17	24	17	16	10	7	15	181

ホームページ投稿件数:74 件 アクセス数:167,753 件
 Facebook 投稿件数:107 件 フォロワー数:632 人
 [令和 6 年 3 月末現在]



- センター通信「きらめき」の発行(年 4 回)
 - ・事業開催告知と報告
 - ・登録団体活動紹介
 - ・あきたF・F推進員紹介
 - ・男女共同参画推進に関する国や県の情報提供
- 発行部数 243 部・配布先 119 箇所
- 【配布先】 登録団体 あきた F・F 推進員
 県南地域の高等学校 市町村



- 男女共同参画に関連する新聞記事を掲示
 - ・随時最新記事を更新



- オンラインによる情報提供(センターを会場にリアルタイムで放映)
 - ・男女共同参画社会づくりに向けての全国会議 (開催日:6 月 26 日/主催:内閣府)
 - ・多様性に満ちた社会づくりフォーラム～ピースみんないい秋田～(開催日:8 月 27 日/主催:秋田県)
 - ・男性の家事・育児応援セミナー～変えよう意識・取らせよう育休～(開催日:10 月 18 日/主催:秋田県)

市民活動・協働連携支援部門

県南地区市民活動サポート業務委託事業

高齢者向けスマートフォン操作体験会等

（県南地区）実施業務

地域づくりワークショップ等委託事業

令和6年度 県南地区市民活動サポート業務報告書

事業目的	秋田県南部男女共同参画センター内において「南部市民活動サポートセンター」を運営し、多様化・複雑化する地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた市民活動に対応するため、県南地域の市民活動を総合的に支援する中間支援組織として、各種業務を行う。 (1) サポートセンター設置に関する業務 (2) 市民活動団体の基盤強化に向けた支援に関する業務 (3) 市民活動等の情報発信に関する業務 (4) NPO災害支援ネットワーク体制の整備に関する業務 (5) 中間支援による協働の推進に関する業務
実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター内〔南部市民活動サポートセンター〕
従事者の人数	5名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア及び県民 企業 行政 社会福祉協議会 学校等
委託総額（円）	4, 831, 000 円（委託先：秋田県）

(1) サポートセンターの設置に関する業務

・市民活動に関する相談・助言

年間相談件数が685件あり、前年度比較では若干減少ではあるものの、例年並みの件数であった。

NPO法人からの相談件数に関しては270件で、前年度比1.5倍と増えた。内訳としては「運営・事業関連」が43%、「会計処理」が24%、「資金や助成金情報」が23%となっている。ボランティア・市民活動団体に関しては293件と減少したが、「運営・活動関連」が66%と前年度とほぼ同数の相談があった。次いで「資金や助成金情報」が14%との結果であった。

NPO法人や任意団体等の新規設立相談が5団体あり、年度内での設立はなかったものの、3団体（NPO法人）が設立に向けて準備中である。また、解散に関する相談はなかった。

今年度の特徴として「NPO法人設立相談」と「NPO法人の資金等」の相談件数が大きく伸びている。コロナ禍以後、NPO法人の活動が例年活発になっていたが、今年度もその傾向が継続している結果となっている。

相談受付件数（総数）		685
1	NPO法人設立について	24
2	NPO法人の運営・事業について	117
3	NPO法人の会計処理について	66
4	NPO法人の資金や助成金情報について	63
5	ボランティア・市民活動団体の設立について	22
6	ボランティア・市民活動団体の運営・活動について	193
7	ボランティア・市民活動団体の会計処理について	37
8	ボランティア・市民活動団体の資金や助成金情報について	41

9	団体・個人・講師などの照会やコーディネートに関する相談	33
10	企業の社会貢献	7
11	IT、ICT等について	31
12	その他	51

資金調達等の支援については、補助金・助成金の申込み、寄付金のコーディネート等について13件支援した。

- ・補助金・助成金等 10件
- ・寄付金等 3件

(2) 市民活動団体の基盤強化に向けた支援に関する業務

・合同セミナーの開催

予定どおり4回のセミナーを3地域サポートセンター連携により開催できた。開催内容も3センターでの打合せを行い、NPO法人・市民活動団体に対し、基盤強化となる内容を提供できた。セミナーは、県内3地域の会場をオンラインでつなぎ、共通の内容を受講した。南部は北部と同様に会場の設営と運営を行った。

(3) 市民活動に関する情報の収集及び発信に関する業務

- ・4月から毎月1回、県南地区の市民活動団体取材し、秋田県市民活動情報ネットに掲載する記事を作成した。
- ・令和5年度中に4回（4月、7月、10月、1月）、県南地区の市民活動団体取材し、秋田魁新報「市民活動のとびら」に掲載する記事の原稿を作成した。
- ・自主的に発行してきた情報誌「ハンサン」を1回発行した。
- ・自主的に開設しているサポセンブログ及び法人のFacebookページでは主に補助金・助成金情報や、団体等の活動紹介を行った。補助金・助成金情報については該当する団体があれば直接メール配信を行って情報提供した。

令和6年度 秋田県市民活動情報ネット掲載団体

発信月	団 体 名	地 域
4月	美郷骨董美遊時庵	美郷町
5月	横手おやこ劇場	横手市
6月	みずほの里直売会	美郷町
7月	金澤朝市実行委員会	横手市
8月	羽後の嫁どり実行委員会	羽後町
9月	NPO法人地域共生事業企画ねこの手もかりたい	湯沢市
10月	集いの場・かだれ！	仙北市
11月	みさぽーと	美郷町
12月	狙半内共助運営体	横手市
1月	NPO法人みらいの学校	羽後町
2月	NPO法人光希屋（家）	大仙市
3月	パパスサークルピーターパン	横手市

令和6年度 秋田魁新報「市民活動のとびら」掲載団体

発信月	団 体 名	地 域
4 月	NPO 法人ガンバってらよ田沢	仙北市
7 月	NPO 法人 NPO 法人ゆーとぴあネット	湯沢市
10 月	横手市日本語学習会	横手市
1 月	にしせんの” わ” 実行委員会	大仙市

(4) NPO災害支援ネットワーク体制の整備に関する業務

- ・ネットワーク体制整備の取組に参画

事前打合せを含め4回の体制整備事業に参画した。災害ネットワークに関するイベントや意見交換会では開催スタッフを担うなど、会場での運営にも協力した。

(5) 中間支援による協働の推進に関する業務

(ア) 好事例となり得る取組や他のモデルとなる団体等への個別支援

好事例モデルとなる4団体（学用品おさがりの会・居場所づくりサポート心結び・NPO法人こまち・ハート・オブ・ゴールド・NPO法人うにとろ）への支援をアウトリーチ型で行った。

(イ) 市民活動団体同士の情報交換や交流を図る取組

県南地区NPO関係セクター交流会を開催。企業や行政関係者も含めた11団体から15名の参加があった。この交流会から、新たな協働関係や事業連携が生まれるなどの成果があった。また、交流会企画・実施は、県南地域の4NPO法人にて実行委員会を組織して運営、より連携意識が高まる手法にて行った。

(ウ) 市町村や他の中間支援組織との連携強化や情報共有に向けた取組

各市町村への訪問の他、横手市・横手社協との生活支援協議体、学校や基礎自治体等との連携による地域防災事業、横手市地区交流センター事業への協力といった取り組みに参画し、連携強化や情報共有となる支援を行った。

(エ) 県民や企業、教育・行政機関等に対する市民活動の理解・参加促進に向けた取組

東日本電信電話㈱秋田支店及びグループ企業のSDGs活動をマスコミ発信するなどの取組ができた。また、学校との協働における地域防災事業の企画・コーディネイトや企業とNPOとの連携協議のコーディネイト等を行った。

(オ) 地域における市民活動団体等の活動実態の把握

団体運営に関する課題聞き取り、助成金相談ウィークやNPO会計相談ウィークを実施。団体の実態把握を進めると共に、相談対応や課題解決支援を行った。

(カ) その他協働の推進に向けて効果的な支援や取組

横手市及び湯沢市における共助組織と行政担当者の意見交換会や横手市社会福祉協議会へのフードドライブ食料品贈呈などのコーディネイトを行った。

当業務の全般において広く市民活動PRを目的としたマスコミ発信を行い、多くの事例が新聞記事やテレビ報道にて紹介され、県民への周知を図ることができた。

写真(抜粋)



▲学用品おさがりの会への伴走支援(交換会)



▲学用品おさがりの会への伴走支援(テレビ取材)



▲NPO災害支援ネットワーク体制整備事業への協力



▲市民活動団体への相談対応



▲県南地区 NPO 交流会



▲地域防災の意識向上・感覚促進に関する協働支援



▲横手市と住民組織の情報交換会をコーディネート



▲スグッチファンド採択事業のサポート



▲防災イベントの協働コーディネート



▲フードドライブによる食料贈呈式コーディネート



▲協働によるこども食堂開催支援



▲3センター合同セミナーでのサテライト開催

令和6年度 高齢者向けスマートフォン操作体験会等（県南地区）実施業務

事業目的	高齢者のデジタル活用を推進するため、スマートフォン等を手に取り操作できる体験会等を開催する。操作体験会と相談会を各市町村を会場に出前形式にて行う。
実施時期	令和6年5月31日～令和7年1月31日
実施場所	県南地区の公民館等を会場に全7市町村で実施
受益対象者	高齢者を中心とした県民等

（1）高齢者向けのスマートフォン操作体験会

1. 開催実績

開催期間：令和6年7月5日～12月6日

開催回数：62回

参加人数：235人

講師：NTTドコモ、ソフトバンク、KDDI

開催場所：県南地区7市町村の公民館等

2. 所 感

体験会も4年目となったが、今年度事業でも「この体験会があって良かった」との声を多く受けた。アンケートでも満足度が96%、再度の参加希望も85%と高い結果を得ている。スマートフォンに関する質問や疑問、困り事を受け止めてくれる場が無い、足りないことが、県内でも解消できていない現状が反映された結果となっている。

アンケートでもスマートフォンの使用率は86%と高いが、いわゆるガラケーのサービス終了で買い替えざるを得ない事情から所持したケースが多く（参加者談）、使いこなせていない実態もある。高齢者ユーザーの中でも、使用熟練度の差が広がっている実態が現場で見え、アンケートからも読み取れる。そのため、体験会の内容をいま一度再考する必要があると感じている。また、講師との交流（質疑応答）が短いと、スマートフォンの使用意欲が下がる（使用継続への諦め）傾向性が一定数見られたため、一定時間を割いて当日参加者をグループ化した体験時間を設けることを提案したい。

（2）なんでもスマホ相談会

1. 開催実績

開催期間：令和6年10月19日～令和6年11月23日

開催回数：9回

参加人数：65人

講師：秋田工業高等専門学校の学生

開催場所：県南地区2市のイベント会場と公共施設

2. 所 感

この相談会は、県民（特に高齢者層）からのニーズが高い「スマホの悩みを気軽に相談できる場」として機能したと感じている。現場でも参加者の満足度が高い様子が見られたがアンケートでも95%との回答が得られている。「また参加したい」との回答も92%あり、熱望されている事業である。

今年度が初開催であったが、イベントとの相性がとても良い事業であると感じた。高齢者が多く参加するイベントが条件となるが、参加者に時間の余裕があり、会場へのアクセスも良いことから参加しやすい環境にある。「聞きたいことがすぐに聞ける」「スマホで困っていたことを解決してくれる」ことが高評価につながっている。それは、講師が専門的な知識をもった学生であったことも大きな要因となっている。総じて、参加者と講師の関係性も良好でリラックスしたムードでの相談会となり、その雰囲気演出できたのは良かったと感じている。

アンケートからも、開催継続要望の高さが見られる。「開催回数を増やしてほしい」との多くの声が聞かれた。広報周知の強化は必要だが、参加率は高い事業だと感じる。

今年度も、携帯3キャリア（NTTドコモ・ソフトバンク・KDDI）と学生（秋田高専）による企業・学校との協働体制により事業執行を行った。「秋田県のデジタル・デバイド（情報格差）の解決に貢献したい」との思いで参加していただいております、その思いを繋ぐ役割も当事業にて果たせたと感じている。

また、この経験は今後の協働体制の構築や、市民活動支援・コーディネートなど多くの場面で活かせるものとなっている。

令和6年度 地域づくりワークショップ等委託事業

1. 概 要

全国トップクラスの人口減少が進行中の秋田県において、住民が自分事として地域づくりに参画していくことは必須となっている。住民自らが地域の課題等を捉え、その解決に向かって考え、行動することは必要とされている。

その支援として、行政や地域等へ当該事業を提案し、また業務依頼により住民参加型の話し合いの場づくりやワークショップの開催運営等を行っている。

2. 実 績

地域	事業名
美郷町 全域	美郷町生活支援コーディネーター業務
大仙市 協和地区	きょうわ彩色千輪プロジェクト運営委員会 ワークショップ業務
湯沢市 川連地区	かわつら若者まちづくりミーティング業務委託
湯沢市 横堀地区	横堀若者まちづくりミーティング業務委託
横手市 里見地区	令和6年度 里見地区伴走支援業務
横手市 全域	令和6年度 地域づくり研修実施業務委託
横手市 全域	第2回地区交流センター大交流会開催支援業務
横手市 全域	横手市地区交流センター運営協議会連合会設立 支援業務

共助共生社会づくり部門

除排雪団体立ち上げ等支援事業（県南地区）業務

令和6年度 共助・共生社会づくり部門

共助・共生社会づくり部門においては、円滑な地域づくりを目指し、多様な主体による協働の推進と地域のコミュニケーション強化に取り組み、5年後10年後も安心安全に暮らせる地域のために、行政のみに頼らないで自立可能な地域共助の核となる、住民による自主的な組織の育成等に力を入れています。

1. 事業概要

事業名	除排雪団体立ち上げ等支援事業（県南地区）業務
事業目的	高齢者世帯等の除排雪支援など、地域課題の解決を目指す自治会、町内会等の団体に対して、活動するための組織化や継続した活動を行うための支援を行うなど、体制の構築と強化を図ることを目的とする。
実施時期	令和6年4月30日～令和7年3月31日
受益対象者	自治会、町内会等の地域自治組織、一般市民、企業

【数値目標と実績】

	目標	実績
共助組織立ち上げ	2	3

2. 事業内容

（１）説明会等の実施

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の活動を活性化する気運を醸成するほか、地域の課題を把握するため、自治会や町内会等の団体の代表者等を対象に既存組織の活動事例の紹介などの説明会やワークショップを開催する。

（２）団体等の立ち上げ支援

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の立ち上げを促進するため、活動を行う意欲のある自治会や町内会等の団体に対して、個別に事例等の紹介や助言等のほか、関連する補助金等の情報提供や事務手続きの支援を行う。

（３）団体の継続した活動に対する支援等

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の活動の継続支援として、活動している自治会や町内会等の団体の活動状況を把握し、継続した活動をするために必要な体制等に関して助言するなど、継続した活動につながる支援を行う。

(4) 団体同士の連携強化に対する支援等

活動している団体同士の連携を図るため、地域ごとに共助組織が参集し、情報交換や協働の取組の実施を推進するなど、団体同士の連携強化につながる支援を行う。

(5) アシストスーツの貸し出し

除排雪作業の省力化と除排雪団体の活動の活性化を図るため、除排雪団体に対し、必要に応じてアシストスーツ（装着型の補助器具）を貸し出しする。

3. 成果

(1) 説明会等の実施

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の活動を活性化する気運を醸成するほか、地域の課題を把握するため、自治会や町内会等の団体の代表者等を対象に既存組織の活動事例の紹介などの説明会やワークショップを開催する。

◆令和6年度団体立ち上げ提案地域（※は設立済み）

【横手市】相野々地区、山内地域づくり部会、里見地区

【湯沢市】清水小屋地区（※）、上角間町内会（※）

【美郷町】大坂地区、美郷町生活支援協議体、本堂城回地区、安丈寺地区、元本堂地区（※）

【仙北市】生保内地区

(2) 団体等の立ち上げ支援

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の立ち上げを促進するため、活動を行う意欲のある自治会や町内会等の団体に対して、個別に事例等の紹介や助言等のほか、関連する補助金等の情報提供や事務手続きの支援を行う。

【令和6年度立ち上げ団体】

① 清水小屋除排雪会（湯沢市11月1日設立）※県の補助金申請についても支援

② まひるスノークラブ（美郷町12月1日設立）※県の補助金申請についても支援

③ 上角間除雪共助会（湯沢市12月29日設立）※県の補助金申請についても支援

※これで県南の団体数は全県74団体中35団体となった。

(3) 団体の継続した活動に対する支援等

高齢者世帯等の生活課題の解決を図る団体の活動の継続支援として、活動している自治会や町内会等の団体の活動状況を把握し、継続した活動をするために必要な体制等に関して助言するなど、継続した活動につながる支援を行う。

【補助金助成金申請サポート】

- ・ 除排雪団体設立助成事業費補助金（秋田県）
 - 清水小屋除排雪会 10万 採択
 - まひるスノークラブ 10万 採択
 - 上角間除雪共助会 10万 採択

【活動紹介】

- ・ 横手かまくらFM「がんばる地域応援団」
 - 4月から3月まで、月1回FM放送で横手市内の除排雪団体等の活動を紹介
- ・ 「元気なふるさと秋田づくり表彰（平鹿地域振興局）」にふくち共助組合を推薦

（ 4 ） 団体同士の連携強化に対する支援等

【事務局としてのネットワーク支援】

- ① 横手市共助組織連合会
 - ・ 情報交換会1回開催 6月19日
- ② 湯沢市共助組織ネットワーク会議
 - ・ 情報交換会1回開催 11月21日

（ 5 ） アシストスーツの貸し出し

- ・ ふくち共助組合 1台

（ 6 ） その他

- ・ 法人のブログ、Facebookにて除排雪団体の活動を随時情報発信

【総会等への出席】

- ・ 11月20日 南郷共助組合
- ・ 12月8日 保呂羽地区自治会
- ・ 3月22日 南郷共助組合

【他県からの視察サポート】

- ・ 8月28日 宮城県加美町
- ・ 10月28日 岩手県滝沢市
- ・ 10月30日 山形県酒田市
- ・ 11月8日 岩手県北上市
- ・ 11月11日 岩手県盛岡市

若者就労支援部門

秋田県南若者サポートステーション事業

厚生労働省事業

横手市事業



令和6年度 秋田県南若者サポートステーション事業



＜厚生労働省委託事業・横手市支援事業＞

1. 事業概要

事業目的	働きたいが踏み出せない状態にいるものや社会的自立に困難を抱える若者を支援する。利用者それぞれに応じたキャリアコンサルティングやスキルアップのためのセミナー、職場見学や体験等の支援を実施し就職に結びつけ、働く喜びや働く意味を感じ取ってもらう。
実施期間	平成26年4月開所 ～令和7年度（12年目）
実施場所	秋田県南若者サポートステーションよこて （秋田県横手市横山町1-1 すこやか横手内）
従事者の人数	9人
対象者の範囲	主に秋田県南地区（7市町村）の15歳から49歳で就職に意欲を持つ現在無業の若者とその家族
相談状況 （令和6年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数（延べ人数） 661名（うち40代30名）〈-23.2%〉 ・新規登録者数 35名（うち40代2名）〈+40%〉 ・就職等者数 31名（うち40代3名）〈+63%〉 〈 〉内は前年対比

2. 事業内容

1) 相談支援事業

キャリアコンサルタントを中心に一人一人に寄り添った面談
臨床心理士による面談（横手市支援事業）
来所が困難な利用者やその家族のための出張相談
就労決定後のステップアップ支援

2) セミナー（令和6年度実績）

（ア）サポかふえ

【内容】話し合いや簡単なゲームなどを通して対人スキルとチームワークを学んでいく

【実施回数】 9回 【参加人数】 延べ63人

（イ）ぷちトレセミナー

【内容】規則正しい生活リズムをつかみ、社会人として必要な基本的生活習慣を身に付ける

【実施回数】 79回 【参加人数】 延べ79人

（ウ）PC講座

【内容】基本的なPC操作（ワード・エクセル・メール情報モラル）を中心に実践通して学ぶ

【実施回数】 17回 【参加人数】 延べ29人

（エ）ものづくり（手芸）

【内容】他者とのコミュニケーションを取りながら、自分だけのオリジナル作品を制作する

【実施回数】 2回 【参加人数】 延べ4人

3) ジョブトレーニング・職場見学等

① サポよこジョブクラブ

【内容】少人数のグループワークを通して自己理解を深めコミュニケーション能力を高める

【実施回数】 21回 【参加人数】 延べ63人

② 本気の就勝

【内容】実際の就職活動を始めるうえで必要なスキルを具体的に学ぶ

【実施回数】 11回 【参加人数】 延べ18人

③ 企業紹介セミナー

【内容】企業の情報について具体的な情報を利用者に伝え、職場見学や職場体験につなげる

【実施回数】 4回 【参加人数】 延べ11人

④ 職場見学

【内容】実際の職場を見学することにより自己の職業適性や職業観を養うことにつなげる

【実施回数】 18回 【参加人数】 延べ23人

⑤ 職場体験

【内容】職場で実際の仕事を体験することにより、職場の雰囲気や自己の不足部分を知る

【実施回数】 2回 【参加人数】 2名

4) 出張相談

①ハローワークよこて 毎月第2火曜日 9:30~12:00

【実施回数】 11回

②横手市ワイワイぷらざ 毎月第3火曜日 9:30~12:00

【実施回数】 12回

③湯沢市役所 毎月3木曜日 9:30~12:00

【実施回数】 12回

④大仙市健康福祉会館 毎月第2金曜日 9:30~12:00

【実施回数】 12回

⑤ハローワーク角館 不定期 9:30~12:00

【実施回数】 4回

【出張相談者合計 20人】

5) 学校との連携

①横手高等学校定時制課程（随時）

中退者の情報交換

②大曲農業高等学校太田分校（6月）

全校生徒に向けての講話「働くことは生きること」

③平成高等学校3年生（2月）

事業説明および、社会に出る卒業生への講話

6) その他支援内容について

最近の利用者の特徴としてそれぞれの利用者の背景に複雑にからみあった課題を有している例が増えてきている。そのためサポートステーションだけでは就労に結び付けることが困難となってくる事例も多い。そのため令和6年度の支援内容として、ハローワークよこてだけでなく横手市社会福祉協議会、障がい者就業・生活支援センター（なかぼつ）、横手市障がい者基幹相談支援センターなどとの連携を深めた。また、ジョブタグやG A T B・職業レディネステストの導入により利用者の職業適性を見極めるほか、職業情報の提供などでより効果的に就職活動を進めることができた。その結果として就職者数のアップにつながったと思われる。（新規登録者数前年比40%、就職者数前年比63%アップ）

相談件数に関しては前年より減っているが、一回の相談である程度の方向性を示し必要な情報を的確に提示することで、利用者本人が自ら動く事例が多かったことや、比較的短期で就労が決まった利用者が多いことが上げられる。

3. 今後の課題において

来所者数としては横手市が半数以上を占めているが、支援対象者は他市町村にも必ずいるはずであり、地域による支援格差が生じている。オンライン相談や、出張相談を効果的に利用して行きたい。そのためにも現在の課題であるホームページからの発信を充実させたい。SNSなども利用も取り入れ、末端まで情報が届くようにしたい。また、横の連携をさらに深くするために2月に開催した事例検討会をさらに大きく参加事業所や回数も増やしたい。福祉的就労を選ぶ利用者も増えていることから現在の支援対象者に対応するために必要とされる知識やスキルを学ぶためのスタッフ研修にも力を入れていくとともに、関係各所も交えた研修会なども行うことで、利用者を中心とした支援ネットワークを作りたい。

既に、7月にネガティブケイパビリティをテーマとした研修を予定しており、関係各所にも参加を募りワークショップなども取り入れて関係を深めていく。

講師・ファシリテーター派遣事業

令和6年度 講師・ファシリテーター派遣事業

1. 概 要

県内外の行政やNPO・大学などからの依頼により、職員の講師等派遣を行っている。多様な事業運営に基づいた専門的な知識や経験・情報などをお伝えし還元することにより、豊かな市民社会の実現に寄与している。

2. 実 績

講演等の講師派遣	8
ワークショップ等の運営派遣	2
委員会等の出席派遣	1 1
共助社会づくりチームによる視察等の受入対応	5
原稿等の依頼対応	1
合 計	2 6 件

協力事業関連

地域サロン等による「いきいき生活」支援事業

（県外避難者及び地域住民支援/地域サロン等の開催）

令和6年度 協力事業関連

1. 概要

当法人では主体事業の他、他団体との連携・協力・協働を重視し、事業チームの一員として参画や協力・支援等を行っている。

2. 事業内容

事業名	地域サロン等による「いきいき生活」支援事業（県南地域） （秋田県社会福祉協議会「高齢者が活躍する場づくり助成事業」採択）																																																																														
事業主体	東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会																																																																														
事業の目的	秋田県南部地域にて避難生活をされている方々を対象に支援活動を長年行ってきた。そのノウハウを活かし発展するため活動内容を転換し「地域サロン」として支援活動に展開した。従来の避難者支援に加え、地域住民への支援も対象としていく。																																																																														
事業実績	<table><tr><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">開催日</th><th rowspan="2">イベント名</th><th rowspan="2">会場など</th><th rowspan="2">開催数</th><th colspan="4">参加者数（延べ数）</th></tr><tr><th>計</th><th>対象者</th><th>講師</th><th>その他</th></tr><tr><td rowspan="2">交流サロン</td><td>毎月第3金曜日</td><td>横手湯沢サロン</td><td>旭ふれあい館、秋田県南部男女共同参画センター 他</td><td>10</td><td>66</td><td>36</td><td>9</td><td>21</td></tr><tr><td>毎月第4日曜日</td><td>交流サロンin大仙</td><td>地域交流センター「はびねす大仙」</td><td>11</td><td>84</td><td>53</td><td>0</td><td>31</td></tr><tr><td rowspan="2">交流会</td><td>11月16日</td><td>交流会 （いものこ汁交流会）</td><td>旭ふれあい館</td><td>1</td><td>12</td><td>5</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>2月23日</td><td>交流会 （笑顔と、元気でつながる輪）</td><td>地域交流センター「はびねす大仙」</td><td>1</td><td>39</td><td>32</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>いきいき活動支援</td><td>通年</td><td>サロン制作物の展示、震災語り部活動（講演・取材）など</td><td>JR大曲駅、高校、新聞、ABS</td><td>4</td><td>12</td><td>4</td><td>1</td><td>7</td></tr><tr><td>事業継続に向けた活動</td><td>通年</td><td>フリーマーケットにて、活動資金獲得活動</td><td>秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」、交流会</td><td>3</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>30</td><td>220</td><td>132</td><td>17</td><td>71</td></tr></table>					事業名	開催日	イベント名	会場など	開催数	参加者数（延べ数）				計	対象者	講師	その他	交流サロン	毎月第3金曜日	横手湯沢サロン	旭ふれあい館、秋田県南部男女共同参画センター 他	10	66	36	9	21	毎月第4日曜日	交流サロンin大仙	地域交流センター「はびねす大仙」	11	84	53	0	31	交流会	11月16日	交流会 （いものこ汁交流会）	旭ふれあい館	1	12	5	3	4	2月23日	交流会 （笑顔と、元気でつながる輪）	地域交流センター「はびねす大仙」	1	39	32	4	3	いきいき活動支援	通年	サロン制作物の展示、震災語り部活動（講演・取材）など	JR大曲駅、高校、新聞、ABS	4	12	4	1	7	事業継続に向けた活動	通年	フリーマーケットにて、活動資金獲得活動	秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」、交流会	3	7	2	0	5	合計				30	220	132	17	71
事業名	開催日	イベント名	会場など	開催数	参加者数（延べ数）																																																																										
					計	対象者	講師	その他																																																																							
交流サロン	毎月第3金曜日	横手湯沢サロン	旭ふれあい館、秋田県南部男女共同参画センター 他	10	66	36	9	21																																																																							
	毎月第4日曜日	交流サロンin大仙	地域交流センター「はびねす大仙」	11	84	53	0	31																																																																							
交流会	11月16日	交流会 （いものこ汁交流会）	旭ふれあい館	1	12	5	3	4																																																																							
	2月23日	交流会 （笑顔と、元気でつながる輪）	地域交流センター「はびねす大仙」	1	39	32	4	3																																																																							
いきいき活動支援	通年	サロン制作物の展示、震災語り部活動（講演・取材）など	JR大曲駅、高校、新聞、ABS	4	12	4	1	7																																																																							
事業継続に向けた活動	通年	フリーマーケットにて、活動資金獲得活動	秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」、交流会	3	7	2	0	5																																																																							
合計				30	220	132	17	71																																																																							
事業実施の効果・トピックス	<p>・定期的に核となる地域サロンを開催できることで参加者も参加しやすく「アテにできる交流の場」であることが確立されてきた。また、この活動に興味を持った学生・若者の参加もあり広がりを見せている。この事業の目的である「悩み事、相談事などのファースト窓口と見守り機能」を担うことができた。</p> <p>・いきいき活動支援ではサロン等参加者の制作物を展示する機会をつくるなど、多く実施できたことで地域貢献も達成できた。</p> <p>・近年 311 大震災の風化が顕著になってきていたが、秋田県でも毎年水害被害が発生するため県民の防災への高まりが見られた。防災・減災を目的として大震災の記憶・教訓を伝える「語り部活動」を本格化させている。サロン等での講和や学校での講演を行うことができた。その模様について秋田魁新報やABS秋田放送にて取材・報道があった。</p>																																																																														
今後の展望	<p>新たな活動展開として「地域サロン」化の定着に挑戦した一年だった。特段問題なく活動移行できたと考えている。まずは、この支援活動を確立させ、どう継続していくかを検討していきたい。</p>																																																																														

